

PCB 処理未了廃水の流出と緊急対策の実施について

平成 18 年 3 月 28 日
日本環境安全事業株式会社

本日午前 5 時 20 分ころ、当社の東京 PCB 廃棄物処理施設(江東区青海 2 丁目地先)において、微量の PCB を含む処理未了廃水の一部が流出する事故を発生させてしまいました。このため、施設周辺の水質測定を行うとともに、浸透した芝生へのシートがけなどの緊急対策や安全対策を実施いたしました。

ご迷惑をおかけした関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

1. 流出状況

本日午前 5 時 20 分ころ、PCB 処理未了廃水 18m³ が一時貯留していたタンクからオーバーフローし、流出した廃液のほとんどは、敷地内の芝生に浸透していると思われます。

詳細な流出原因は現在調査中です。

2. 緊急調査の結果

- 敷地内雨水枡(採水時刻 午前 10 時) 0.0084mg/l *
- * 排水基準は 0.003mg/l 以下です。
- 放流口直下の海水(採水時刻午前 10 時 45 分) 不検出 *
- * 検出下限 0.0005mg/l

3. 安全対策

(1)緊急的対応

処理施設の稼働を停止しました。また、排水が浸透した芝生へのシートがけ、雨水枡に残存していた処理未了廃水の回収等を実施しました。

(2)今後の対応

芝生の土壌調査を実施します。また、今回の事故原因を究明し、再発防止策を検討してまいります。